

第3章

健康政策課

健康政策課は、企画調整担当、健康づくり担当及び予防接種担当で組織され、企画調整担当は、保健所運営会議の開催、保健所の公有財産管理、各種統計調査等を行った。健康づくり担当は、はちおうじ健康づくり推進協議会と共に、健康増進の普及・啓発、対象者に対する保健栄養に関する指導・助言を行った。予防接種担当は、各種予防接種を実施した。

1 広報活動・健康教育

(1) 広報活動

ア 広報媒体の活用

市広報等を通じて事業の周知を図るほか、所内外に垂れ幕及び看板等を掲示するなどの広報活動を行った。

広報媒体の活用状況（表 1-1）

種 別	件 数	内 容
広報「はちおうじ」 (特集号記事含む)	69件	健康政策課23件、生活衛生課14件、保健対策課32件
タウン誌	4件	健康政策課 4 件
看板の掲示	4件	健康政策課 3 件、生活衛生課 1 件
シティビジョン等	2件	保健対策課 2件
医師会報	12件	

イ ホームページによる情報提供

保健所の事業案内、保健衛生情報、イベント情報等をタイムリーに提供するため、ホームページによる情報提供に取り組んだ。

- ・ホームページアドレス

(PC版) <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/hoken/007/index.html>

(モバイル版) <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/mobile/kurashi/hoken/007/index.html>

(2) 健康教育

地域住民が保健衛生に関する理解と関心を高め、心身共に健康で楽しく日常生活を快適に過ごすために、業務を通じて健康教育を展開した。

保健指導や監視指導のほか、地域の実情をとらえ有効な視聴覚教材などを利用して、関係機関と連携しながら講習会などを行った。

健康教育実施状況（表 1-2）

区 分	合 計		会 場			
	回数	参加人員 (延)	所 内		所 外	
			回数	参加人員 (延)	回数	参加人員 (延)
27 年 度 総 数	132	8,314	43	978	89	7,336
28 年 度 総 数	148	9,881	41	1,261	107	8,620
感 染 症 (結核・エイズ含む)	14	1,337	2	398	12	939
精 神	41	3,627	1	36	40	3,591
難 病	3	97	—	—	3	97
ア レ ル ギ ー	—	—	—	—	—	—
成 人 ・ 老 人	—	—	—	—	—	—
健 康 ・ 食 育	18	1,215	3	39	15	1,176
歯 科	—	—	—	—	—	—
医 事 ・ 薬 事	2	153	—	—	2	153
栄 養	6	453	2	212	4	241
食 品	57	2,376	32	549	25	1,827
環 境	7	623	1	27	6	596
そ の 他	—	—	—	—	—	—

(3) DVD等の活用

当所所有のDVD等を、講習会等で利用するとともに学校や老人福祉施設等へ貸出を行い、衛生思想の普及を図った。

DVD等の地域への貸出状況（表 1-3）

区 分	食 品 衛 生	環 境 衛 生	栄 養	歯 科	運 動	健 康 づ くり	薬 乱 防 止	喫 煙 防 止	ア ル コ ー ル	救 急	思 春 期	エ イ ズ	感 染 症	S T D	精 神 保 健	合 計
数	10	—	—	6	—	4	—	—	—	—	—	1	3	1	—	25

(4) AED（自動体外式除細動器）練習機の貸出

当所所有のAED練習機を学校や地域団体に貸出を行い、AEDの操作方法の普及を図った。

AED練習機の貸出状況（表 1-4）

貸出先	学校	町会自治会	他団体	庁内	合 計
回 数	5	2	3	1	11

2 研修・教育

(1) 実習生等指導

公衆衛生関係の人材の確保と保健医療福祉関係者の公衆衛生についての関心を深めるため、保健師学生、管理栄養士学生、医学生、獣医師学生に対して下表のとおり実習を受け入れ、指導を実施した。また、保健所以外の業務についても保健福祉センター等の見学をおこない、対人保健サービスに関する理解を深めた。

平成28年度実習生等指導状況（表2-1）

対象	学校名	実施期間	指導人員	指導内容等
保健師学生	杏林大学保健学部看護学科	6月13日～8月5日	7名	講義：地域保健活動の実際 見学：家庭訪問、デイケア、結核検診等
管理栄養士学生	実践女子大学生生活科学部食生活科学科管理栄養士専攻	4月27日～7月1日	16名	講義：保健所各課及び保健栄養業務について 見学：乳児健診、特定給食施設指導等
医学生	東京医科歯科大学医学部 東京医科大学医学部 順天堂大学医学部	5月25日～2月3日	6名	講義：保健所の仕事について等 見学：結核の接触者検診、感染症の診査に関する協議会、H I V検査、介護予防教室、精神疾患患者の家庭訪問の同行、食品衛生監視検査同行等
獣医学生	岐阜大学応用生物科学部	8月8日～8月12日	1名	講義：保健所業務及び生活衛生課業務について
	日本大学生物資源科学部	2月15日～2月21日	1名	帯同実習：生活衛生関係施設監視、現場調査体験等

(2) 派遣

被災県（熊本県）から全国市長会、東京都を通して保健師派遣協力要請を受け、保健所から保健師1名、事務職員1名、他に保健福祉センター保健師1名、東京都医師1名を合わせた東京都派遣チームの第7班として被災地に派遣し、被災保健所の支援をおこなった。

- ・ 災害概要：平成28年4月14日に発生した熊本県を震源とする地震（M6.5 震度6弱）災害
- ・ 派遣保健所：熊本県御船保健所
- ・ 派遣期間：平成28年5月25日（水）から5月30日（月）までの6日間
- ・ 活動内容：被災者の健康相談、健康チェック、避難所の衛生対策支援
活動について、平成28年6月30日開催の復興支援・防災・危機管理対策特別委員会懇談会に報告

3 情報公開

保健所が保有する情報に対する公文書公開請求及び関係機関からの行政照会の件数は、下表のとおりであり、適切に公文書の公開又は情報の提供を行った。

情報公開の状況（表 3-1）

区分	件数	食品衛生	医事薬事	環境衛生	その他
公文書 公開請求	303	199	146	130	2
行政照会	106	62	36	8	—

* 公文書公開請求の件数には、情報提供依頼件数を含む。各区分に計上した数は、各請求・照会ごとの対象公文書数を合計しているため、これらの計は件数と一致しない場合がある。

4 統計・調査

保健衛生行政を推進するための企画と実施上の指針として、また、行政効果を把握するための基礎資料として次の統計及び調査を実施し市内の状況を把握するとともに、東京都を經由して厚生労働省に送付した。

(1) 人口動態統計

出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出をもとに「人口動態調査オンライン報告システム」により調査票データを審査集計し、人口動態を把握するとともに地域保健指標として役立てた。

(2) 衛生統計調査

国民保健の実態を知り、社会保障や厚生労働行政の基礎資料とするため、統計法に基づき各種調査を実施した。平成28年度における市内の実施状況は次のとおりである。

各種統計調査実施状況（表 4-1）

調査名	目的	期日	対象
国民生活基礎調査	保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働省の所掌事務に関する政策の企画及び立案に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定すること。	6月2日	7 地区 368 世帯
2016年社会保障・人口問題基本調査 (第8回人口移動調査)	各世帯を構成する世帯員が、入学・就職や結婚といった人生の節目でどのような移動を経験したのか、なぜ移動したのか、また将来どのように移動する予定があるのかを明らかにすることで、人口減少社会における「まち・ひと・しごと」創生や地域活性化などの施策のための基礎資料を作成すること。	7月1日	1 地区 51 世帯

(3) その他の統計・調査

地域保健・健康増進事業報告

国及び地方公共団体の地域保健施策の効率的・効果的な増進のための基礎資料として、市の地域保健事業及び健康増進事業の実施状況を厚生労働省へ報告した。

5 健康づくり

(1) 健康ネットワークとして健康づくりを支援する活動

すべての市民が健康でいきいきと暮らしていけるよう、市民・各種団体と行政がネットワークをつくり、健康的な生活様式や健康づくりを支援するまちづくりを進めるため、「はちおうじ健康づくり推進協議会」を平成15年11月に設立した。同協議会とともにイベント等を通し、健康づくりに関する普及啓発活動を実施した。

ア 第13回市民健康の日「2016健康フェスタ・食育フェスタ」

毎年5月の第3日曜日を「市民健康の日」と定め、健康づくりを楽しみながら体験できるイベントを開催した。また、例年11月に実施していた「食育フェスタ」と合同開催し、食育についても楽しみながら、意識できる機会とした。

健康フェスタ全体会及び実行委員会（表5-1）

項目	回数	開催日		内容等
健康フェスタ全体会	3	第1回	平成28年1月13日	開催にむけて、はちおうじ健康づくり推進協議会構成団体から推薦された委員による健康フェスタ実行委員会を設置して検討を進めた。
		第2回	5月6日	
		第3回	6月16日	
健康フェスタ実行委員会	3	第1回	平成28年2月16日	
		第2回	3月17日	
		第3回	4月21日	

健康フェスタ開催（表5-2）

年度	開催日	会場	参加団体	来場者
26	5月18日	富士森公園陸上競技場・市民体育館	45団体	9,222名
27	5月17日	エスフォルタアリーナ 八王子	45団体	9,353名

健康フェスタ・食育フェスタ開催（表5-3）

年度	開催日	会場	参加団体	来場者
28	5月15日	富士森公園陸上競技場・富士森体育館	41団体	10,298名



イ 健康づくり活動発表会

地域でいきいきと活動しているグループや団体の発表を通じて、地域における健康づくりの活性化を図る事を目的に開催した。

実施状況（表5-4）

年度	内容	開催日 会場	参加団体	来場者
27	健康寿命をのばそう はちおうじ ～いつまでもこのまちで 楽しく元気に暮らすために～ 基調講演講師 公益社団法人 東京都柔道整復師会南多摩支部長 矢口 栄司先生	2月28日 学園都市センター	10団体	149名
28	みんな元気で健康長寿 基調講演講師 有限会社ピーアウェイク 久野 秀隆先生	1月22日 学園都市センター	11団体	186名

ウ 第37回八王子いちよう祭りへの参加

健康づくりに関する健康情報の発信や市民健康の日のPRを行った。

いちよう祭り参加状況（表5-5）

年度	開催日	参加団体	来場者
27	11月21・22日	9団体	5,238名
28	11月19・20日	8団体	2,503名

(2) 健康づくりサポーター

地域において市民が生涯を心豊かにいきいきと生きがいをもって暮らせるよう、地域における健康づくりを推進することを目的とし、健康づくりサポーターを養成する。また、健康づくりサポーターが、地域に健康づくりの輪を広げていけるよう支援する。

健康づくりサポーター登録者数 (表5-6)

年度	登録者
27	32
28	33

(3) 生涯を通じた女性の健康支援事業

妊娠、出産等女性固有の機能及び身体的特徴を有することから生じる女性の心身に関するさまざまな支障や悩みに対応するため、関係所管とともに教育・相談等を実施した。

女性の健康支援事業実施状況（表5-7）

年度	健康教育	健康相談	不妊・不育症相談
27	257	222	通年実施
28	342	132	通年実施

※保健福祉センター等、市の取り組みの計

○女性の健康週間講演会「本音で話そう、今さら聞けないこと そうだ！婦人科へ行こう！」

開催日 平成29年3月5日（日）、講師 原千晶氏、会場 学園都市センターホール、受講者109人

6 食育の推進

市民一人ひとりの食に関する理解や関心を深め、健全な食生活の実践を目指す『第2期八王子市食育推進計画』に基づき、食育フェスタ・市民食育講座の開催やライフステージにあわせた食生活を応援する冊子の作成等を行なった。

(1) 専門的栄養指導等

生活習慣病ハイリスク者・在宅難病患者等への専門的栄養指導及び集団指導を行った。

ア 個別栄養指導

個別栄養指導状況（表6-1）

年 度	総数	再掲			
		生活習慣病	難病	その他疾病	その他
27	54	42	58	13	1
28	54	25	3	10	16

イ 集団栄養指導

集団栄養指導状況（表6-2）

年 度	総数	再掲				再掲
		生活習慣病	難病	その他疾病	その他	精神
27	204	14	0	0		25
28	80	6	0	44	30	12

(2) 地区組織活動支援

ア 団体支援

市民の食生活の向上、健康づくりの推進のため地域で活動している団体への支援を行った。

団体支援（表6-3）

項 目	実施回数	延べ人員
地 域 活 動 栄 養 士 会	13回	128人
八王子管理栄養士の会ダイエタリー・フレンズ	11回	77人

イ 食育サポーター事業

地域・市民に対してより広く食育を広めるため食育サポーターを養成し、食育フェスタ等の食に関わるイベントや地域の食育活動での支援に取り組んだ。

食育サポーター—食育活動支援内容（表 6－4）

サポーター	認定人数	活動回数	延べ活動人数	活動内容
学生	3	11	52	食育フェスタ、市民食育講座、夏休み料理教室、デイケア、男の料理教室
一般	17			

(3) 国民健康・栄養調査

国民の総合的健康増進を図る基礎資料として、健康増進法に基づき厚生労働省の指定地区対象に調査を実施する。

平成28年度は、調査地区に選定されなかったため実施せず。

(4) 食育推進事業

第2期八王子市食育推進計画の推進を図るため、八王子市食育推進会議を開催した。また、事業の取り組みとして食育フェスタの実施、食育サポーター活動支援、はちおうじ食育ネット（食育専用ホームページ）の運営を行った。

ア 食育推進会議

八王子市食育推進計画の推進を図るため、総合的な見地から意見交換を行った。

イ 食育フェスタ

食育を市民へ広く周知する取り組みの一つとして「人と食をむすぶ」をキャッチフレーズとして、はちおうじ食育フェスタを開催。

平成 28 年は、毎年 5 月の第 3 日曜日を「市民健康の日」と定め、健康づくりを楽しみながら体験できるイベント『健康フェスタ』と合同開催し、楽しみながら『健康』『食育』について体験できるイベントを実施した。

食育フェスタ実行委員会（表 6－5）

項 目	開催日	内 容 等
食育フェスタ 実行委員会	平成 28 年 2 月 4 日	平成 28 年度フェスタの開催について説明
	3 月 2 日	全体スケジュールについて
	4 月 6 日	出展ブース、スケジュール確認
	6 月 8 日	決算報告、次年度の実施方法について
健康フェスタ・ 食育フェスタ全体会	平成 28 年 5 月 6 日	当日のスケジュール等全体調整

食育フェスタ（表 6-6）

年度	開催日	会場	参加団体	来場者
27		雨天のため中止	—	—
28	5月15日（日） 健康フェスタと 同日開催	富士森公園陸上競技場・富士森体育館	15	10,298人

ウ ヘルシーメニュー推進事業

市民の健康維持・増進及び生活習慣病予防の観点から、市内の外出産業（飲食店、給食施設、スーパー等）に対し、野菜が多くカロリーにも配慮したヘルシーメニューを提供できる店舗の登録店制度を行い、食環境整備を図っている。

ヘルシーメニュー登録店（表 6-7）

年度	登録店舗
28	57

エ 市民食育講座

6月の食育月間にあわせ、市民の食育への関心や理解を深めるための講演会を実施した。

市民食育講座実施状況（表 6-8）

開催日	会場	内容	参加人数
6月19日（日）	北野市民センター 8階ホール	もったいないが食育の基本 講師：森野 熊八	119名

オ 食育啓発パンフレット



ひとり暮らしをするあなたに
「料理の基本と野菜」
活用ブック
を作成し、市内大学等に
配布した。

カ はちおうじ食育ネット（食育専用ホームページ）

平成24年4月に開設した食育の専用ホームページにより、市内の食育情報の発信を行った。

URL: <http://www.hachioji-shokuiku.com/>

7 予防接種

感染症の発生及びまん延を予防するため、各種予防接種を実施した。

定期（A類疾病）予防接種実施状況（表7-1）

種 別		対象者数	実施者数			
			接種完了者	予診のみの者		
ジフテリア 百日せき 破傷風 急性灰白髄炎 (四種混合)	初回 第Ⅰ期	第1回	3,734人	3,642人	21人	
		第2回	3,734人	3,644人	28人	
		第3回	3,734人	3,742人	32人	
	第Ⅰ期追加		4,107人	4,237人	53人	
ジフテリア 百日せき 破傷風 (三種混合)	初回 第Ⅰ期	第1回	1人	—	—	
		第2回	1人	—	—	
		第3回	1人	—	—	
	第Ⅰ期追加		40人	—	—	
急性灰白髄炎 (ポリオ)	初回 第Ⅰ期	第1回	40人	16人	—	
		第2回	110人	51人	1人	
		第3回	200人	88人	—	
	第Ⅰ期追加		720人	305人	5人	
ジフテリア 破傷風		第Ⅱ期	4,776人	3,667人	15人	
麻しん風しん		第Ⅰ期	4,034人	3,882人	60人	
		第Ⅱ期	4,601人	4,206人	33人	
日本脳炎		初回 第Ⅰ期	第1回	4,084人	4,562人	42人
			第2回	4,084人	4,504人	46人
		第Ⅰ期追加		4,342人	4,981人	35人
		第Ⅱ期		4,871人	4,554人	14人
結核（BCG）			3,734人	3,711人	69人	
ヒブワクチン		初回	第1回	3,734人	3,604人	21人
			第2回	3,734人	3,599人	21人
			第3回	3,734人	3,560人	20人
		追加		4,034人	3,935人	52人
小児用肺炎球菌ワクチン		初回	第1回	3,734人	3,610人	23人
			第2回	3,734人	3,625人	21人
			第3回	3,734人	3,589人	22人
		追加		4,034人	3,920人	55人
水痘（みずぼうそう）		第1回	4,034人	3,866人	43人	
		第2回	4,034人	3,546人	42人	
子宮頸がん予防ワクチン		第1回	2,393人	4人	—	
		第2回	2,393人	2人	—	
		第3回	2,393人	4人	—	
B型肝炎		第1回	3,621人	2,612人	15人	
		第2回	3,621人	2,282人	11人	
		第3回	3,621人	766人	10人	

- * 子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年6月14日から積極的接種勧奨を中止
- * B型肝炎予防ワクチンは、平成28年10月1日から定期接種開始
- * BCGは、平成28年度より集団接種方式から個別接種方式に変更
- * 町田市、日野市、多摩市、稲城市の契約医療機関でも接種を実施（相互乗り入れ）
- * 風しん・麻しん単独分の接種人数は、平成28年度より麻しん風しん混合分にて計上

高齢者インフルエンザ（B類疾病）予防接種（表7-2）

実施期間	平成28年10月11日～平成29年1月31日
対象者	65歳以上の方
	60～65歳未満で心臓等内部疾患に1級程度の障害のある方
対象者数	143,594人
接種者数	53,165人
接種率	37.0%
自己負担額	2,500円（生活保護受給者等は無料）

* 町田市、日野市、多摩市、稲城市の医療機関での接種を実施（相互乗り入れ）

高齢者肺炎球菌予防接種（表7-3）

区分	定期接種（B類疾病）	任意接種
実施期間	平成28年4月1日 ～平成29年3月31日	平成28年4月1日 ～平成29年3月31日
対象者	65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・ 90歳・95歳・100歳の方 60歳～65歳未満で心臓等内部疾患 に1級程度の障害がある方	65歳以上で定期接種対象以外の方
自己負担額	4,000円（生活保護受給者等は無料）	
接種者数	10,658人	1,619人
計	12,277人	

* 初めて接種する方が対象

麻しん風しん特別予防接種（表7-4）

実施期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
対象者	2歳以上19歳未満で麻しん風しん混合第1期・第2期・第3期の定期接種を受けられなかった方
接種者数	288人
自己負担額	なし

* 八王子市独自の任意予防接種の費用助成制度として実施

* 風しん・麻しん単独分の接種人数は、平成28年度より麻しん風しん混合分にて計上

先天性風しん症候群対策の風しん予防接種（表7-5）

実施期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日	
対象者	19歳以上の妊娠を予定又は希望する女性で風しんの抗体検査結果より、十分な免疫がないと判断された方	
接種者数	麻しん風しん混合	262人
	風しん	4人
	合計	266人
自己負担額	なし	

* 八王子市独自の任意予防接種の費用助成制度として実施

B型肝炎特別予防接種（表7-6）

実施期間	平成28年10月1日～平成29年3月31日
対象者	平成28年3月31日以前に生まれた方で、①②に該当する方 ①接種当日に3歳未満 ②B型肝炎ワクチン全3回接種のうち不足回のある方
接種者数	4,849人
自己負担額	なし

* 八王子市独自の任意予防接種の費用助成制度として実施

8 医療安全支援センター

平成24年9月に医療安全支援センターを保健所内に開設し、市民が抱える医療への不安や苦情、相談等に対応するとともに、医療機関や市民に対して、医療安全に関する助言や情報提供を行った。

平成29年2月9日、八王子市医療連携推進懇談会に当センターの運営状況について報告した。

（1）医療安全相談窓口

相談件数（表8-1）

年度	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
27	952	90	80	96	84	88	83	67	70	61	68	88	77
28	918	84	82	76	77	82	93	68	61	75	89	69	62

相談者（表8-2）

年度	本人	家族・親戚	友人・知人	医療機関	その他	不明
27	663	235	13	3	15	23
28	587	248	9	1	24	49
割合 (%)	64.0	27.0	1.0	0.1	2.6	5.3

内容（表8-3）

年度	相談	苦情
27	792	160
28	716	202
割合 (%)	78.0	22.0

処理経過（表 8-4）

年度	課題整理	対処方法の提案・助言・説明	医療・関係機関案内	当該機関（施設）へ連絡	立入検査（担当部署引継ぎ含む）	相談継続	市の関係部署案内	傾聴	その他（相談者から中断）	対応困難で終了（暴言等）
27	12	445	387	4	3	7	60	23	11	0
28	2	420	353	7	3	10	86	29	8	0

（2）講演会

講演会等（表 8-5）

講演会名	開催日	会場	テーマ・講師	参加者数
市民対象 医療安全講座	2月15日（水）	クリエイト 視聴覚室	薬について知ってほしいこと 講師 松本 有右氏	47名
医療関係者対象 医療安全研修会	1月25日（水）	クリエイト ホール	臨床に役立つインフォームド コンセントの法的知識について ～実例を参考にしながら 講師 桑原 博道氏	64名

9 口腔保健支援センター

平成 28 年 4 月に口腔保健支援センターの企画調整機能を保健所内に開設し、週 1 日、非常勤の歯科医師を 1 名配置して、市の歯科事業の調査をおこなった。歯科医師会とともに市民向け講演会を開催した。

（1）講演会

講演会（表 9-1）

講演会名	開催日	会場	テーマ・講師	参加者数
市民対象 歯科講演会	1月8日（日）	学園都市 イベントホール	オーラルフレイル予防 認知症と歯科 講師 飯島 勝矢氏 菊谷 武 氏	159 名

10 災害対策

保健所（健康部）は、医療保険部と共に、災対医療保険部・健康部として市の災害対策本部に位置付けられている。

（1）体制

保健所の危機管理対応にあたるほか、災害対策本部、水防本部など市災対本部への配属、さらに災対医療保険部・健康部として 2 次救急病院等 15 か所の緊急医療救護所に要員を配置している。

（2）訓練

訓練（表 10-1）

訓練等	実施日	会場	訓練内容	参加者数（全体）
総合防災訓練	10月28日（日）	市立第 2 中学校 美術室他	「災対医療保険・健康部本部」設置訓練情報収集・分析・報告訓練	55 名 市災害医療コーディネーター含む
図上訓練	2月17日（金）	大横保健福祉センター	「災対医療保険・健康部本部」設置訓練、マニュアル確認	医療保険部 13 名 健康部 10 名 計 23 名

